

第37期(令和4年度) 事業計画



1. 事業推進方針

今期も、昨年度策定致しましたAHMICビジョン、第8次中期運営計画のもと、さらなる経営の安定と成長を目指し、積極的に事業を推進してまいります。

注力する取組

- ・ 経営基盤のさらなる整備**
- ・ 新しい技術・開発手法への積極的取組**
- ・ ユーザーからの信頼獲得**
- ・ 情報セキュリティの遵守と社員教育の徹底**
- ・ 企業価値のさらなる向上**

2. 業務別売上目標

(単位：千円)

業務区分	計画	前期	対前年増減	前年比
常駐保守	77,419	76,465	954	101.2%
賃貸借及び管理保守	88,410	88,640	-230	99.7%
個別委託	51,087	56,947	-5,860	89.7%
データ入出力	7,173	7,421	-248	96.7%
パッケージ販売	59,326	44,215	15,111	134.2%
その他	385	758	-373	50.8%
合計	283,800	274,446	9,354	103.4%

- 常駐保守／賃貸借及び管理保守／データ入出力は前年並
- 個別委託では、自治体業務、病院業務でのさらなる案件獲得を見込む
- パッケージ販売は、ユーザの更新に加え新たなパートナーとの連携による新規のユーザの獲得を見込む

3. 業務別推進方針

■常駐保守

- ・ 日常保守手順の再確認と基本行動やコミュニケーションの徹底により、安全・確実な業務遂行を実践するとともに、感染症への対策についても徹底して行い、事業継続、安定した業務遂行を実施
- ・ 新たなシステム化業務やネットワークの保守への対応に積極的に取り組み、対象業務を拡大

■賃貸借及び管理保守

- ・ 例年通り各業務の管理保守を確実に実施
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種対応・学校給食債権管理機能変更対応・狂犬病マイクロチップ対応等の機能追加や改修業務の確実な実施

■データ入出力

- ・ 特定健診、各種健診、予防接種等のデータ入出力業務の確実な実施

■個別委託

- ・ 予定案件の確実な受注及び導入を実施するとともに、法制度改正等に
伴うシステム改修に柔軟に対応

主要案件

■自治体業務

- ・ 国保課特定保健指導システムサーバ更新
- ・ 医療費助成システムカスタマイズ
- ・ 令和4年度データ標準レイアウト改版における療育手帳に係る
改修業務
- ・ 障害福祉サービスデータベース構築に伴う事業システムの改修
- ・ 令和5年度データ標準レイアウト改版における新型コロナに係
る改修業務
- ・ 介護保険システム改正対応（メーカー受託）

■病院業務

- ・ A市立病院医事システム更新導入支援（メーカー受託）
- ・ A市立病院電子カルテシステム導入支援（メーカー受託）
- ・ メーカー／パートナーとの連携による導入支援案件
- ・ 制度改正対応

・令和5年度以降の受注獲得に向けた活動

■自治体業務

- ・ **学校給食費徴収／公金管理システム、難病システム改修業務等の提案継続**
- ・ **自治体業務システム標準化に向けた支援や提案の継続**
 - ✓ **既存のシステムやシステム間連携に関する情報や印刷業務や統計業務を含めた業務運用についても整理を行い、システムの移行計画への情報提供を実施**
 - ✓ **先行して標準化へ移行する業務の移行に関する支援の提案**
 - ✓ **保健福祉、健康管理、就学事務システムに関して、国から出される予定の標準化の仕様を確認した上で、メーカーやパートナーとも連携しながら、標準化外の業務も含めた提案の準備を実施**
- ・ **新庁舎移転に向けた提案**
 - ✓ **汎用機の移行や各課への移転に向けた支援の実施**
 - ✓ **福祉窓口や庁舎外の手続き等のシステムの機能の検討を継続実施**

■病院業務

- ・ **病院システムの導入支援のさらなる受注**
 - ✓ **メーカーと病院システム導入予定情報の共有**
 - ✓ **旭川市内の民間病院への病院システムの導入作業のさらなる受注に向けたパートナーとの連携強化**
- ・ **旭川市内の民間病院のシステム保守業務の受注に向けた検討の実施**

■パッケージ販売

- ・ 健診システムでは確定している案件の確実な導入を遂行するとともにパートナー連携によりさらに受注を拡大
- ・ 給食システムでは、特別支援学校向けの新バージョンへの更新を確実に実施するとともに、さらなる新規案件を受注

健診システム主要案件

- ・ C 北海道病院（更新）
- ・ D 市立病院（他社リプレイス）
- ・ E 旭川市内民間病院（新規）
- ・ F 病院電子カルテ入れ替えに伴う改修
- ・ 新規導入 2 病院
- ・ 各病院カスタマイズ、機能追加、改修対応

給食システム主要案件

- ・ 保育所向け 受注目標 新規 3 件
- ・ 特別支援学校向け 受注目標 新規 1 件 更新 2 件
受注済 15 校への次期バージョンの導入

- ・さらなる受注獲得を目指して、製品・販売・サポートを強化

■健診システム



- ・次期バージョンの開発
 - ✓本年度中のリリースに向け、開発業務を継続
 - ✓当初目標の標準化・ドキュメント化についても継続実施
- ・パートナー連携強化による受注案件の増加
 - ✓中規模医療機関病院情報パートナーとの連携拡大・強化
 - ✓IT補助金活用による中規模病院へのアプローチ
- ・リモート保守の拡大
- ・SNS・リモート会議等を活用したユーザとの情報共有の試行

■給食システム

- ・特別支援学校向け次期バージョンの導入
 - ✓15ヶ所のスムーズな導入と、未受注案件獲得
- ・パートナーとの連携
 - ✓保育園向けの新規ユーザー獲得に向けて既存のパートナーとの連携を継続



4. 経営基盤の整備に関する取組方針

■調査及び研究に関する取組方針

- ・ AI（人工知能）技術の活用
 - ✓勉強会への参加 技術動向や利用方法の調査・研究を継続実施
 - ✓文字認識技術の研究・利活用の検討
 - 健診システムのデータ入力での実用化に向けて検討を継続
- ・ 自治体業務システム標準化への取組
 - ✓国の方針や具体的仕様を確認するとともに、メーカーやパートナーと情報共有を継続、旭川市への情報提供や提案を実施
 - ✓標準化予定業務システムや標準化時の帳票作成ツール等試験導入を行い、事前の評価を実施

■人材育成及び技術習得

- ・ 人材育成への取組
 - ✓日々の業務を通じての育成に加え、研修会やWeb教育を積極的に活用
- ・ ITや業務スキルの習得
 - ✓資格取得へのチャレンジも含めてITスキルのさらなる向上
 - ✓各業務を通じて、業務スキルについても確実に習得

■働き方改革及び業務効率化

- ・社内情報基盤の整備・活用

✓Web会議システムの活用定着

遠隔ユーザとの保守や打ち合わせでの活用の拡大

✓テレワーク・リモートワークの活用

非常時の事業継続や育児・介護者の活用継続

✓ペーパーレス化や承認業務のワークフロー化の検討

文書管理や承認業務の効率化及び迅速な意思決定のためのシステム化検討

■新規事業

- ・病院情報システム導入事業の拡大

✓旭川市内の民間病院への導入業務の拡大及び保守業務の開始

✓自社主体による小規模医療機関への病院情報及び健診システムの導入検討準備の開始

- ・看護専門学校における情報技術講義への講師派遣の開始

- ・AHMICビジョンを実現する新規事業の継続検討

5. 企業価値の向上に関する取組方針

■情報セキュリティ及びISMS

- ・ 定期的な社内研修及び各グループ単位でのディスカッション
✓セキュリティへの意識向上
✓絶えず対策やルールの見直しを実践、PDCAサイクルを継続
- ・ ウイルス及びランサムウェア等への対策
✓セキュリティベンダーから情報収集を継続、適切に対策を実施
- ・ 月刊“情報セキュリティ通信”の継続 啓蒙への取組継続
- ・ ISMS定期審査 10月末を予定

■事業継続計画

- ・ 地震、水害等の天災や火災、停電等や新型ウイルスやインフルエンザによる事業継続リスク対策について検討を継続

■環境負荷の低減

- ・ 環境負荷低減活動の継続と意識の向上への取組を継続
✓クールビズ／ウォームビズによるエアコン・暖房の節約
✓こまめな節電、紙資源の節約、アイドリングの自粛

■社会貢献活動

コロナウイルスの感染状況を見据えながら、下記について検討・実施

- ・リベライン旭川パーク(フラワーランド)の清掃活動
 - ・福祉施設等への寄付活動
 - ・親睦会と連携による球技大会などのチャリティイベントの実施
 - ・地域イベントへの積極的な参加
-
- ・社員メンバーによるプロジェクト会議を継続し活動計画を提案、社員による自発的な活動を継続

